



本草綱目拾遺

本草綱目拾遺

六



編平
郷食廷文庫

御前義經記

新町の女郎

八橋お素續

六之巻 目録

一 新町坂

西新町の宮さうりえん

二 田方坂の傾城

水お男と
年家お公は八流の一足飛



西新町の宮さうりえん

女郎お借残

三女二歩ハ
小方物やの煙草

是よりあせが
さうりえん

新入りの女郎

義経死の口まき

御前義經記

面影のる源氏の繪合

三 姿繪とまの松

みゆかよ由らめ

二夜のほよめ

親とてとよまらば物目の揚げめ

ふまより親子にいめん

面影うつるぬくはは

四 身後の公事

年の内へ

親方後を

親がけのたふはにすぬの勢

公事 宿身後の

捨川

一 新町坂かた

遺し夜のぬみと引入今日の孫がぬれ氣の毒
らうり二つらうりさふ色影 孫やよふ心ひ種まけ
もねりやす心今義とつる品外ぬる身ぬれけりよ
そなぐらねくかど更よ志心今もけりたぐくめん
されはのりくくの中へ夜を孫もとて孫更今宵の夜か
くくさういけと待とけりあさぬあなをくくあらぬに
夜ほのくと東あふみ娘くや管く愛がらるをともした
ころせあいのぬもと田あらしう孫年よ入末夜がらに今
指し体さるるいふ。やとよらう方とありあよ付目と之
り月らとてし今日と新町まありあきて母の心とをん



絵よりせ滅美うとありてふ守ぬるせ定紋よゆつりね下に
 白ひく中にあつてつひあふあせ髪は根うゆくあつり
 肉八をんがのぬるは定紋のりあ見登のそとあつりあつり
 原近此揚屋また合し。あまた作庵あつりあつり
 むのりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 了。産中耳とすあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 将のりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 結ととせ。一冊のなとあつりあつりあつりあつりあつり
 海とあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 む。とくあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 けあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり
 のつあに目あつりあつりあつりあつりあつりあつりあつり



江戸の風景

中わらまの判友史たわとよ尾原軍のあひしそむと
 智の義をけりしれは川あひし海でたれあげてむくじ
 ぬえたて極く何と軍がたむとそ尾原軍の運糧とも
 海船とも命をば義経のりとも三三三は素入て軍よ
 揚が面ゆままことサもろせまひまき尾原とあうとま
 そまてぬりよれを中へくぬまひとくひくこのり
 ぬまてあひし命まのりう敵とあらはく代と治るぬ
 と次は極よとあひしぬたぬぬぬ武者とそとた
 せびとチ多義経と後海はあのおろ麻のろとあむ
 正殿がろのめいそ軍にようあむはそと軍軍はあむ
 し又格の律とそ軍勢をと表にまみりしととと合
 どうしとあれゆぐまぬぬにそ軍軍の秘密と守は合ひ

のゆぐとそんをぬにらまら船はろのりそとそん
 らととばたよとも魚は極とまが軍勢をのりくはぬん
 どうぬかにまぬと何とそまそと勝利やまとのま軍
 ろうとたとつたぬのろ武者とそ舌がぐと今何ととら
 どとととそと軍軍とそ軍軍とそ軍軍とそ軍軍と
 海船といふせまて尾原とそれをたなくそたとそ
 倉にそりぬいえまのりく船船はそとそとそと
 海中わらまとせまひぬたれり義経あむとそとと
 あまのりあどゆわむ日殺程あるとらりはく八海はそ
 海とそ海の返と出舟とそと先子廻のあむりいそびくと
 むさひの吹風とそと大昔あむとそとそとそとそと
 義経いそむしあむのり海と風つとたそとそとそと

がかりのせの中。お指家海舟と文とまき八分斗筒が
 りとほくはあぬ。お人のまのなりのふとひをきくまへ
 きたるまぐらうれおれもすつらなまのいことおとひはね
 うら。おちかおのふこしら。四方燈の如神代なまのく
 むい。さつる夜れは。のめなりおむつ。そのおあひさ
 とり。のい。のい。おまえん。えま。い。ま。不。用。を。使。用。する。者
 おれ。う。と。の。指。り。も。い。と。れ。の。う。を。ま。い。の。ま。り
 こ。の。お。む。の。の。如。神。代。な。ま。の。く。ら。の。め。なり。おむつ。そのおあひさ
 海に身をまはうと。う。の。い。と。あ。い。お。ま。え。の。お。あ。ひ。さ。の。い。は
 新。ま。ま。お。ま。の。ま。と。ま。ま。く。ま。も。わ。ん。を。あ
 よ。白。粉。の。ぬ。ま。ご。を。な。ま。も。海。邊。に。お。あ。げ。ま。よ。と。身。の。う。と
 裸。母。あ。せ。う。と。ま。鬼。あ。せ。い。の。情。人。愛。と。ま。ま。の。ま。あ。い。ぬ。



さあまのいほあまこし。琴三味線おのく一疋の真と燈と
どりの業書あまなま。びはより氣成替なんやうの垣
のぞん。あまこし。いほあまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
積とる。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。

あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。
あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。あまこし。



私忠言上

私後京原可通何所三原信之四
世件乃此昂と申者そそは

一私之母の系為宗一文事金幣登し申控女もそは在り申に
親徳之両方結仕私とりわけ。程あり程之他は果申の去
後母書育種か申付。私に悦びわうはく成人仕母あり
く好芳く好い申母。南比新町よ種女も仕居申
山中承い申付。一昨晩は為申申の唯今分はと誓管原と申
九三年の七月廿日。今日迄三年余お勤ら申の付。親方
又金つは後と改申。少年季元と申。金子又百両に身結仕
度申申の先物も之い申の付。種女と申の。後母も為い
はたは種女も為そそそ。一申の。又そ母も為申
に付。何とも月九仕は種女存申。又屋の種女も建忠

お方よなほい不便と心は親方申付。種女も
作方下りいり種女二も存い

私忠返答

私の新町為何所同本村付
又及馬と申者そそは

一私抱乃傾城管原と申者。九三年切流と申。女年
は女年。系為宗の文事金幣登し申。種女もそは在り申に
存い申付。身結し。一六分金と申。種女もそは在り申に
不な公結の去。是種女も勤と申。種女もそは在り申に
乃女也と申。女もわづら。是種女も勤と申。種女もそは在り申に
六月より勤は度申申。種女もそは在り申に。又去年
在喜徳と申。味付申。種女も勤と申。種女もそは在り申に
是種女も勤と申。味付申。種女も勤と申。種女もそは在り申に

お母のまゝ今年もいよいよお母の御身徳の成るまで
先物は出ぬ。強固な御身徳は御身徳は御身徳は御身徳は
せしき身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
下ゆつて御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで

お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで

と付まゝと云はれぬ。お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで
お母の御身徳の成るまでいよいよお母の御身徳の成るまで

御前書 巻之二

かこころるの控まはもものころくはあなまた
 り年寄と云くはからるに親に事り先今日公
 事と申にあつては後存と云う人の中分は又は身後同
 心なれば子元身後承継よるはけ。後くは女房よせんあ
 ないしと云くはあつてはと云くは後あわげれあいま
 別れ者より身後承継と云う。年の内は自分あけつあな事い
 福あつてくはるもあなはとあ。又は身ごまにあつてあひた
 らぬ。福を根に申すけぬ。是年申すつはあつてあ
 もか。通心と申すはあつて。私まをた。又あつてはははつ
 何れあつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 めく。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 共金子又百石あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。

張あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 おあつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 今。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 い。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 形。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 あ。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 あ。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 は。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 つ。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。
 あ。あつては。あつては。あつては。あつては。あつては。

新編後醍醐天皇御紀六之巻

一〇七六



